

# ブラジル中銀、3会合連続で政策金利を6.50%に据え置き

2018年8月2日  
ドイチェ・アセット・マネジメント株式会社

- ブラジル中央銀行（以下、中銀）は、市場予想通り、政策金利を6.50%に据え置きました。
- レアルは足元落ち着きを取り戻しつつあります。
- 大統領選挙については直前まで情勢が大きく変化することから、今後本格化する選挙戦の動向が注目されます。

## 【3会合連続で政策金利を据え置き】

中銀は2018年8月1日（現地時間）、政策金利を6.50%に据え置くことを全会一致で決定しました。3会合連続での据え置きとなり、市場参加者の予想と一致しました。

声明文では、今回の決定について、インフレ見通しとリスクバランス、景気見通しに基づく判断との文言が据え置かれました。なお、大規模ストライキによるインフレ上昇は一過性のものであることが明らかになりつつあるとの見方を示しました。

6月のインフレ率は前年比4.39%と政策目標（2018年は4.5%±1.5%）の中央値付近まで上昇しており、追加利下げの余地は乏しい一方、物価上昇圧力が一過性のものであることを示す経済指標も見られ始めており、中銀は「利上げを行う段階でもない」と判断したと見られます。なお、先行きの金融政策については、インフレ見通しとリスクバランス、景気見通しに基づき判断するととらえ、方向性については示唆しませんでした。

## 【為替市場は落ち着きを取り戻す】

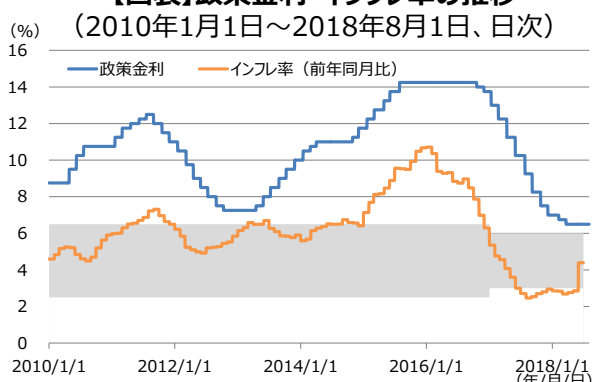
レアルは足元、落ち着きを取り戻しつつあります。2018年前半には、大統領選挙に対する悲観的な見方や大規模ストライキ、さらには米国長期金利の急上昇を背景とした新興国資産からの資金流出といった複数の要因が重なり、レアルは急落しました。このため、中銀は通貨防衛のため大規模な市場介入に踏み切るとともに、必要に応じさらに追加の手段を講じる用意があることを示唆していました。

しかしながら、7月に入るとこれらの要因に変化が見られたことで、レアルは中銀の介入に依存しない形で安定化に向かっていると見られます。足元大統領選挙や米国金利上昇への警戒感の後退し、また、ブラジルの経済指標はストライキの影響はあるものの景気回復の継続を示唆しています。

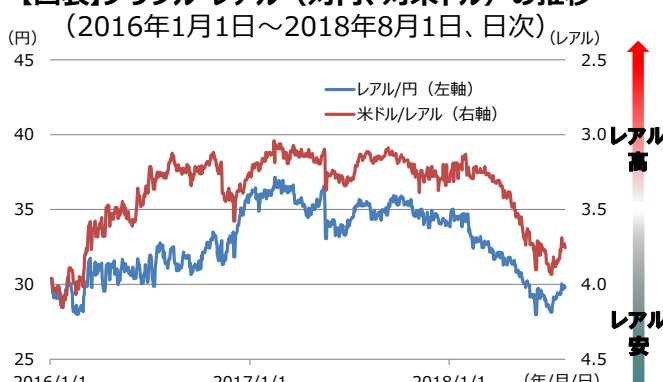
## 【大統領選挙の動向がますます重要に】

現政権を含む中道右派連合は元サンパウロ州知事のアルキミン氏への支持を表明しました。アルキミン氏はテメル政権が推進している改革路線を継承すると見られており、市場の信頼も厚いことから、市場の安心感につながっています。直近の世論調査では同氏への支持率は低い水準となっていますが、今後選挙戦が本格化し、テレビでの政見放送が始まれば、同氏への支持率が上昇するとの期待も足元のレアルを支える一つの要因となっている模様です。なお、過去の大統領選挙を振り返ると、直前に支持率が大きく変わることが一般的です。そのため、ブラジル市場を見る上で、選挙戦の動向にこれまで以上に注目されます。

【図表】政策金利・インフレ率の推移



【図表】ブラジル・レアル（対円、対米ドル）の推移



出所：Bloombergのデータを基にドイチェ・アセット・マネジメント(株)が作成

※インフレ率 = IPCA（拡大消費者物価指数）とは、最低給与からその40倍の給与水準までの家計を調査対象にした消費者物価指数。政府の公式インフレ指標。  
※インフレ率は2018年6月まで。

## ブラジル豆知識「選挙は国民の義務」

日本では投票率の低下が問題となっていますが、ブラジルでは投票に行くのが普通です。18歳以上70歳未満のブラジル国民には投票は義務となっており、正当な理由なく投票しなかった場合は罰金等の罰則が課せられます。このため、まだ支持者を決めていない有権者や、出馬困難と見られるルラ元大統領の支持者の動向が今後の選挙戦を占う上で重要となってきます。8月末よりテレビやラジオで政見放送が行われますが、ブラジルの選挙では、メディアの影響が大きいといわれています。政見放送における各候補者の持ち時間は、支持政党の議席数に応じて配分されるため、議会からの支持を得ている候補者ほど放送時間は長くなり、有利といわれています。

※データは記載時点のものであり、将来の傾向、数値等を保証もしくは示唆するものではありません。

当資料は、情報提供を目的としたものであり、特定の投資商品の推奨や投資勧誘を目的としたものではありません。当資料は、信頼できる情報をもとにドイチェ・アセット・マネジメント株式会社が作成しておりますが、正確性・完全性について当社が責任を負うものではありません。当資料記載の情報及び見通しは、作成時点のものであり、市場の環境やその他の状況によって予告なく変更することがあります。当資料に記載されている個別の銘柄・企業名については、あくまでも参考として記載したものであり、その銘柄・企業の株式等の売買を推奨するものではありません。

## ブラジル中銀、3会合連続で政策金利を6.50%に据え置き

## ご留意事項

## ●投資信託に係るリスクについて

投資信託は、主に国内外の株式や公社債等の値動きのある証券を投資対象とし投資元本が保証されていないため、当該資産の市場における取引価格の変動や為替の変動等により投資一単位当たりの価値が変動します。したがってお客様のご投資された金額を下回ることもあります。

また、投資信託は、個別の投資信託毎に投資対象資産の種類や投資制限、取引市場、投資対象国等が異なることから、リスクの内容や性質が異なりますので、ご購入に際しては、事前に最新の投資信託説明書（交付目論見書）や契約締結前交付書面の内容をご確認の上、ご自身で判断して下さい。

## ●投資信託に係る費用について

【お申込みいただくお客様には以下の費用をご負担いただきます。】

- 購入時に直接ご負担いただく費用・・・購入時手数料 上限3.78%（税抜3.50%）
- 換金時に直接ご負担いただく費用・・・信託財産留保額 上限1.0%
- 投資信託の保有期間中に間接的にご負担いただく費用・・・運用管理費用（信託報酬） 上限2.0304%程度（税込）
- その他費用・・・上記以外に保有期間等に応じてご負担いただく費用があります。  
投資信託説明書（交付目論見書）、契約締結前交付書面等でご確認下さい。

## 《ご注意》

上記に記載しているリスクや費用項目につきましては、一般的な投資信託を想定しております。費用の料率につきましては、ドイツ・アセット・マネジメント株式会社が運用するすべての投資信託のうち、徴収するそれぞれの費用における最高の料率を記載しております。投資信託の運用による損益は、すべて受益者に帰属します。投資信託は、金融機関の預貯金と異なり、元本及び利息の保証はありません。投資信託は、預金または保険契約ではないため、預金保険及び保険契約者保護機構の保護の対象にはなりません。登録金融機関を通じてご購入いただいた投資信託は、投資者保護基金の対象とはなりません。投資信託に係るリスクや費用は、それぞれの投資信託により異なりますので、ご購入に際しては、事前に最新の投資信託説明書（交付目論見書）や契約締結前交付書面の内容をご確認の上、ご自身で判断して下さい。

なお、当社では投資信託の直接の販売は行っておりませんので、実際のお申込みにあたっては、各投資信託取扱いの販売会社にお問合せ下さい。

ドイツ・アセット・マネジメント株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第359号

加入協会：日本証券業協会、一般社団法人投資信託協会、

一般社団法人日本投資顧問業協会、

一般社団法人第二種金融商品取引業協会